

ショウガとマコモダケの生産・販売の拡大

【令和3年度補正】

産地の復活と休耕地の新たな活用へ（生産の省力化×高付加価値化の事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

調査・検討・実践

【地区名】 明日香村地区（奈良県明日香村）

【現況】

- ・新たな担い手を確保育成するために、収益を確保する仕組みが必要。
- ・中山間地域で休耕地が増えており、水稻に代わる比較的容易に栽培できる作物の生産拡大が必要。

①マーケット調査による分析と加工品の開発

マーケット調査により、有望品目である「ショウガ」、「マコモダケ」の生産振興を図り、付加価値向上のため加工品を試作



① 3種の加工品を開発

②試作品の消費者アンケート調査

村内直売所・マルシェで試作品3種の試食アンケートを実施し、商品化への可能性を調査



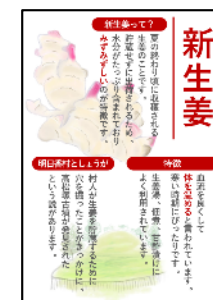
②消費者アンケート調査の様子

③農産物直売所等でのプロモーション

青果での販売促進に向けた商品説明のPOPと料理レシピ集を作成
加工品販売による高付加価値化の実現



マコモダケ



※村内では、古くから「ショウガ」が栽培されている。



③販促ツールの作成と加工品の販売



取組の成果

令和6年度のショウガとマコモダケの販売額は3,817千円となっており、現況値の1,661千円から販売額が大幅に増加（130%増）している。

現況値(R3)	目標値(R6)	実績値(R6)
1,661千円	2,481千円	3,817千円